

「日本から食品事故を無くす」
NPO HACCP実践研究会



予防ベースのアプローチの要（かなめ）

根本原因分析（RCA: Root Cause Analysis）の重要性

アメリカ食品医薬品局（Food and Drug Administration；以下 FDA）から、わたしたちの食品安全に関する業務にも、ぜひ取り入れたい方針が配信されました。食品安全における「根本原因分析（RCA: Root Cause Analysis、以下 RCA）」の推進です。当会幹事の井上彰がご紹介します。

根本原因分析（RCA: Root Cause Analysis）とは…

食品事故が発生してしまったとき、場当たり的な対症療法でなく、根本的原因を突き止め、再発防止策を講じる手法です。RCA の利用方法を解説しています。根本原因分析といえば、トヨタ式「なぜなぜ分析」も有名です。

1.「本当の原因」の系統的な特定

感覚や一時的な判断に頼るのではなく、発生した食品安全インシデントの真因を特定するためのツールとして機能します。

2.理解の深化と教訓の活用

問題に対する理解を根本から深め、RCA のプロセスから得られた教訓を具体的な再発防止策の策定に直接活用することができます。



3.業界と規制機関による教訓の活用

さらに、効果的な RCA を進める上で極めて重要なのが、組織への「人を責めない文化」の定着です。これは主に次の 3 点に集約されます。

① 経営層による強力なリーダーシップと目的意識の提示

「学ぶため」の目的意識を明確にし、事故やトラブルが発生した際に、関与した個人や組織を責めることなく、事実を躊躇なく報告・共有できる価値観や行動様式を組織内に醸成します。

② 「誰がやったか」ではなく「なぜ起きたのか」に着目する姿勢を徹底

個人を非難するのではなく、「起きてしまった事実我真摯に学び、真因に迫る」という姿勢を貫き、プロセスやシステム自体の改善へとつなげます。

③ 実体験を通じた「成功体験」の提供

構成員自身が未然防止活動に取り組む中で有用性を実体験し、適切な行動によって良い成果を得られるような具体的な機会や仕組みを設けます。

私は、これまでも食品安全事故を「他山の石」としてアドバイスする機会がありましたが、この RCA 活用のポイントを大いに活かし、より具体的な再発防止についてメンバーと議論を深めていきたいと考えています。

HACCP 実践研究会 幹事 井上彰

いかがでしたか？詳しく知りたい方は下記 FDA のウェブサイトでご覧いただけます。

[Strengthening Food Safety through Root Cause Analysis | FDA](#)

[Food Safety Best Practices for Human Foods | FDA](#)

HACCP 実践研究会は、各幹事の豊富な経験に基づく、ベストプラクティスと根本原因分析の実践事例を保有しております。今後も皆様にメールマガジン、各種講習会などの様々な形でお届けしてまいります。このコラムが HACCP に真摯に取り組まれている皆様の一助になりましたら幸いです。

発行：NPO HACCP実践研究会 事務局
〒101-0032 千代田区岩本町1-1-4 サンサイド岩本町ビル2F
TEL:03-5856-2039 FAX:03-5856-2041
e-mail:info@haccp.gr.jp
ホームページ:<http://www.haccp.gr.jp>
ご意見・ご要望をお寄せください。